



2021 年 12 月 10 日

CDPによる2021年気候変動調査において評価「A-」を取得

千葉銀行（頭取 米本 努）は、環境分野で世界的に権威のある非営利団体CDP*より、気候変動に対する取組みとその情報開示が評価され、2021年気候変動調査において「A-」を取得しました。

「A-」は、AからD-の全8段階中の2番目の評価にあたり、環境マネジメントにおけるリーダーシップレベルの評価となります。

現在、世界では、地球温暖化に伴う異常気象の頻発等の気候変動に関する危機感が広がっており、各国においてカーボンニュートラルに向けた施策が急速に進んでいます。

当行としてもTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づき、気候変動関連情報の一層の開示拡充を図るとともに、「ちばぎんグループ環境方針」に掲げた「脱炭素社会」の実現に向けた取組みを推進してまいります。

※CDP

2000年に発足した英国の非政府組織（NGO）。世界主要企業等の環境活動に関する情報を収集・分析・評価し、これらの結果を開示している。環境行動に関する世界最大級のデータが集積されており、環境情報開示のグローバルスタンダードとなっている。

以 上